

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

No. 279

2023 (令和5) 年1月27日

安心・安全 そして健康

この度は、強烈な寒波の影響による急な時程変更や臨時休校等で子どもたちはもとより、保護者の皆様に大変なご心配とご迷惑・ご負担をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。また、急なお願いにご対応いただき、誠にありがとうございました。

さて、先号の学校だよりでは、あたかも私が2学期終業式でお話ししたように書いて配付してしまいましたが、何を隠そう、私自身が2学期の終業式当日に新型コロナウイルス感染症を発症してしまい、事前に準備しておいた資料を使って金子教頭に代わりにお話ししてもらいました。終業式に合わせ、学校だよりも印刷済みでしたので、その点も併せてご容赦ください。

3学期の始業式は、雪も新型コロナウイルス感染症も心配していたよりは穏やかな状況にあり、全校で体育館に集まって実施することができました。子どもたちには2学期終業式の話も引用しながら、何もせずに実力や自信を身につけることは難しい。やはりコツコツ努力する部分も大切。短い3学期、まずは自分のめあてを「言葉」にするところから始めましょう、と呼びかけました。

新型コロナウイルス感染症にかかわっては、春を目途に2類から5類への変更が検討されています。行事や教育活動等で大きな制約を受け、保護者の皆様にも様々なご協力をお願いしてきた学校現場としても、ホッとする部分があります。その反面、私自身も実際にり患して、本当につらい思いをした経験から、感染予防対策に関しては慎重に判断していく必要性も感じています。

ともあれ、この3学期、インフルエンザや感染性胃腸炎についても、り患者増加傾向との情報も入ってきています。まずは安全・安心な学校生活が送れるように、感染症対策や校内外の安全指導についても継続していきます。

話は変わりますが、新井中央小といえば人権教育、同和教育をはじめいろいろな充実した教育活動を思い浮かべてくださることと思います。その中で給食・食育に関しても地域・県を代表するような充実した取り組み、そして工夫された美味しい給食を提供することで評価が高いことはご存じでしょうか。

「第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」開催記念学校給食調理コンクールでは、優秀賞を受賞(チーム「さくりんず」～池田晴美前栄養教諭を中心とした当時の調理グループ)、そして、本年度も10月の学校だよりでも紹介したように「第17回全国学校給食甲子園」で新潟県代表に選出(岡田小野江栄養教諭考案の献立)されるなど、工夫した献立や調理が認められています。

今月は、全国給食週間に合わせて、妙高市が全国に先駆けて取り組んでいるSDGsを学校給食にコラボさせた校内給食週間(1/23～27)を展開、給食委員会によるクイズや調理員さんへの感謝の会も行いました。

安心・安全の確保に加え、食育の面からの健康の保持増進にも取り組んでいきます。是非、給食だよりや献立表にじっくり目を通していただくとともに、ご家庭でも食育について話題にいただければと思います。
(校長 村治 隆夫)

毎日の給食には、子どもたちの健やかな成長を願う、給食に携わる人たちの思いが込められています。



これからも妙高市のおいしい食材や食文化、ふるさとの味を子どもたちに伝えられるような食育を家庭や地域と共に展開していきたいです。(栄養教諭 岡田 小野江)